

5. 執筆者紹介

關尾 史郎（せきお しろ）新潟大学人文社会科学系フェロー
上智大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『西域文書からみた中国史』（山川出版社，1998年）、『もうひとつの敦煌』（高志書院，2011年）、『環東アジア地域の歴史と「情報」』（編著，知泉書館，2014年）、『湖南出土簡牘とその社会』（共編著，汲古書院，2015年）、『簡牘が描く中国古代の政治と社会』（共編著，汲古書院，2017年）

荒川 正晴（あらかわ まさはる）大阪大学文学研究科教授
早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学 博士（文学）

【著書・論文】『オアシス国家とキャラヴァン交易』（山川出版社，2003年）、『ユーラシアの交通・交易と唐帝国』（名古屋大学出版会，2010年）、「英国図書館蔵和田出土木簡の再研究－以木簡内容及其性質を中心」（『西域文史』6，2011年）、“The Transportation of Tax Textiles to the North-West as part of the Tang-Dynasty Military Shipment System”（*Journal of the Royal Asiatic Society*, Vol.23-2, 2013）、『中央ユーラシア史研究入門』（共編著，山川出版社，2018年）

成 正鏞（ソン チョンヨン）忠北大学校人文大学考古美術史学科教授、博物館長
ソウル大学校大学院考古美術史学科博士課程修了 博士（文学）

【著書・論文】「加耶地域の 鐵生産斗 流通様相」（『歴史外 談論』85，湖西史學會，2018年）、「清州一帯の 馬韓 百濟古墳斗 그 性格」（『忠北文化財研究』9，忠北文化財研究院，2016年）、「우리나라 先史～中世水利施設의 類型斗 發達過程」（『韓國上古史學報』第87號，韓國上古史學會，2015年）、「中原地域 原三國時代 墳墓 築造集團의 性格」（『考古學』12卷3號，中部考古學會，2013年）、「韓의 始作斗 馬韓」（『馬韓 百濟의 墳墓文化 I - 서울 京畿 仁川 江原』인진，2013年）、「榮山江流域 古代政治體를 바라보는 視覺」（『百濟와 榮山江』學研文化社，2012年）、「百濟와 中國의 貿易陶磁」（『百濟研究』第38輯，忠南大學校 百濟研究所，2003年）、「錦江流域原三國時代の土器様狀について」（『韓式系土器研究 IX』日本韓式系土器研究會，2006年）

新津 健一郎（にいづ けんいちろう）東京大学大学院博士課程・日本學術振興會特別研究員 DC

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程在籍

【著書・論文】「ベトナム・バクニン省所在陶列侯碑と三国・西晋期の交州社会：3・4世紀の嶺南・北部ベトナム地域社会に関する事例分析」（『中国出土資料研究』22，2018年）、「『蜀都』とその社会：成都 221-347年」（窪添慶文編『アジア遊学 魏晋南北朝史の

いま』 勉誠出版, 2017 年)、「2014 年ルイロウ古城発掘調査の新発見」(共訳, 黄曉芬・鶴間和幸編『東アジア古代都市のネットワークを探る: 日・越・中の考古学最前線』 汲古書院, 2018 年)

菊池 百里子 (きくち ゆりこ) 人間文化研究機構総合情報発信センター研究員
東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了 博士 (学術)

【著書・論文】『ベトナム北部における貿易港の考古学的研究－ヴァンドンとフォーヒエンを中心に－』(雄山閣, 2017 年)、『陶磁器流通の考古学 日本出土の海外陶磁』(共著, 高志書院, 2013 年)、「黎朝前期におけるベトナム陶磁の交易」(『昭和女子大学国際文化研究所紀要』 Vol.21, 2015 年)

蓑島 栄紀 (みのしま ひでき) 北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
國學院大學大学院文学研究科博士後期課程修了 博士 (歴史学)

【著書・論文】『古代国家と北方社会』(吉川弘文館, 2001 年)、『「もの」と交易の古代北方史－奈良・平安日本と北海道・アイヌ』(勉誠出版, 2015 年)、『アイヌ史を問いなおす－生態・交流・文化継承』(編著, 勉誠出版, 2011 年)、「古代北海道地域論」(『岩波講座日本歴史』 20 (テーマ巻 1, 地域論), 岩波書店, 2014 年)、「7 世紀の倭・日本における「肅慎」認識とその背景」(『古代国家と北方世界』 同成社, 2017 年)

高橋 昌明 (たかはし まさあき) 神戸大学名誉教授
同志社大学大学院文学研究科修士課程修了

【著書・論文】『武士の成立 武士像の創出』(東京大学出版会, 1999 年)、『平家と六波羅幕府』(東京大学出版会, 2013 年)、『東アジア武人政権の比較史的研究』(校倉書房, 2016 年)『平家の群像』(岩波新書, 2009 年)、『京都〈千年の都〉の歴史』(岩波新書, 2014 年)、『武士の日本史』(岩波新書, 2018 年)

高久 健二 (たかく けんじ) 専修大学文学部教授
韓国・東亜大学大学院史学科博士課程修了

【著書・論文】『楽浪古墳文化研究』(学研文化社, 1995 年)、「楽浪郡と三韓」(西谷正編『韓半島考古学論叢』 すすさわ書店, 2002 年)、「韓国の倭系遺物」(『国立歴史民俗博物館研究報告』 110, 2004 年)、「楽浪・帶方郡埴室墓の再検討」(『国立歴史民俗博物館研究報告』 151, 2009 年)、「楽浪郡と三韓の交易システムの形成」(『東アジア世界史研究センター年報』 第 6 号, 2012 年)、「楽浪郡と三韓・倭の交流関係」(『弥生時代政治社会構造論－柳田康雄古稀記念論文集』 雄山閣, 2013 年)、「新たに報告された楽浪室墓に関する考察」(高倉洋彰編『東アジア古文化論攷 = Studies in East Asian archaeology and history part 1』 中国書店, 2014 年)、「平成 26 年度韓国・三国時代百済関係資料調査報告」(『古代東ユーラシア研究セン

ター年報』第1号, 2015年)

飯尾 秀幸 (いとお ひでゆき) 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『中国史のなかの家族』(山川出版社, 2008年)、「中国古代の法と社会」(『岩波講座 世界歴史』第5巻, 岩波書店, 1998年)、「中国古代における個と共同性の展開」(『歴史学研究』729号, 1999年)、「中国国家史研究は進んだか」(『歴史学研究』782号, 2003年)、「雲夢睡虎地・荊州張家山調査報告記」「中国古代土地所有問題に寄せて」(東洋文庫中国古代地域史研究編『張家山漢簡『二年律令』の研究』東洋文庫, 2014年)、「国家論」(歴史科学協議会編『歴史学が挑んだ課題』大月書店, 2017年)、『中国古代社会史論』(共訳, 名著刊行会, 1997年)